

THE LIGHT
COLLECTIVE

翻訳：森のくま

皆さんの旅について

On the Journey

Posted on January 26, 2014

イライザ・アイレス（タジマ・アマーリア・クマラ）経由

Channeler: Eliza Ayres (Tazjima Amariah Kumara)

わたし達は光の集団、人類と皆さんの最愛なる惑星の故郷ガイアの次元上昇を監視し、導いている光の存在達、高位の霊的指導者達、大天使達、天使達、高位の銀河存在や自然霊達の、ひとつの集合体です。

今日、わたし達は、わたし達の交信者が最近受け取った幾つかの意見に対処したいと思います。その中で人々は、現在のエネルギーの中で人々が多少途方に暮れていることを表明しています。親愛なる皆さん、皆さんは積極的に、皆さん自身と皆さんのすべての人生を失調させる過程に携わっているため、これは予期されていたものです。その人生は、3次元のマトリクスに属する気が進まないひとりの人質として、その皆さんの以前の経験の中で行うように今まで教えられ、導かれてきたものです

毎日、ひとつの物質的な世界の内部でひとりの物質的な存在として存在して、皆さんは、皆さんが所有するよりもさらに低いか、かなり稀にはさらに高い周波数の特徴で振動する個人達に、関与します。皆さんは、今まで長い間条件付けられてきたため、眠りに就いているように見える人々を見下ろすか、ことによると、皆さん自身よりも多くの物事を認識し経験するように見える人々を、妬みます。このようにして皆さんは、数々のエネルギーを解釈して、皆さんがずいぶん長い間そうするように教えられ、条件付けられてきたように、無意識に人々や組織を数々の分類に区別しています。皆さんはこの無意識の習慣から一步離れて、実際に皆さんが皆さん自身や他の人々に対して行っているものに目を向けることが必要になります。

人類は、今まで体系的に分断され、従って外部の状況に応じて、継続的な数々の世代の訓練と条件付けを通して、性別、性的な好み、肌の色、国籍、宗教と信条、財政状況、遺伝子（血筋）あるいは他の分断の何れであっても、独断的に分類化された物事によって、制圧されてきました。これは、皆さんが事実通りひとつの存在であり、ひとつの物質的な惑星上で生きながら、しかしひとつの霊的な継承を共有していることを皆さんが自覚し、感じることを妨げるために、行われてきました。

皆さんは、わたし達によって、そして過去数十年に亘って届けられた数多くのメッセージの言葉によって、内面に目を向け、分断しようとする人為的な数々の境界線の先を見るように、働き掛けられてきました。皆さん自身の神性を認めることによって、皆さんは、皆さんが経験する権利を持つその完全な状態に戻り始めます。皆さんは、他の人々はみなさんよりも特別である、あるいは、特別で価値あるものよりも劣っていると考え続けることによって、そこに着くことはできません。ひとりひとりの皆さんが固有であり、その通りです。確かに異なりますが、しかし皆さんの種の変容、ホモ・エレクトスからホモ・ルミナス（光の人間）への転換が起こるためには、すべてが必要になります。

その通り、その内部に自分達の役割の自覚を携えて、あるいは少なくとも、もしもその人々がその過程をまさに信頼するなら、その人々ができるものの潜在能力を携えて、皆さんと伴にこの惑星を歩む人々がいます。一部のこうした初期の先駆者達は、転生の前に結んだ魂の契約によって、彼らの神聖なる才能を無傷のままより多く携えてここに現れました。その他の皆さんが、いわゆるこの数々のエネルギーに対する感受性の利点と呼ばれるものを持たずに現れた理由は、皆さんは、少なくとも当初は、より霊的な活動に転じて皆さんのさらに高い自己の皆さんの物質的な身体への降下の過程に従事する前に、達成する他の仕事を持ったからです。

わたし達は今、皆さんに伝えますが、既に目覚めて今は皆さんの前を歩んできた人々の言葉を夢中で読む数多くの皆さんは、この生涯の中で物質的に次元上昇することありません。これは、特にもしも人々が霊性やひとつの約束された大地、新しい地球の中でより良い人生を送る約束にまで引き寄せられるなら、人々が耳にしたくないことです。

新しい地球は、既に存在します。黄金のエーテル質の数々の都市は、わたし達がこうした言葉や考えをわたし達の書記官を通して伝えると同時に、建設が続けられています。しかしその一方で、数多くの皆さんが、皆さんがそうすることができるよう皆さんがその周波数水準を意識的に高める能力をまだ習得していないため、今回の生涯の中で、こうした数々の通りを歩み、数々の神殿に入るその階段を上ることはないでしょう。

最愛なる皆さん、これは、断じて皆さんの進歩の批判ではないことを、理解してください。人類の目覚めの過程は、わたし達が可能だと希望したものよりもさらに急速に進み続けていますが、しかしもしも皆さんが大衆もその速度と一緒に進化することに満足するなら、皆さんは、皆さんのエーテル質の身体と物質的な身体にさらに高い光の周波数を完全に定着させるために必要なその目的に達するほど、十分な速さで進化することはないでしょう。依然として、皆さんが今回の生涯の中でまさに達成するその進歩がどのようなものであれ、それは皆さんの未来の数々の時系列に運び込まれることになるでしょう。

親愛なる皆さん、皆さんはひとつの種全体の進化に参加しているところです。すべての皆さんによって行われた努力の純粋な巨大さは、驚異的なものです。そして、皆さんが確認しない、そして今後もしばらくの間外部で確認することがない、沢山の物事があります。その光の符号の定着は、意識的に行われ、活力ある意図で取り込まなければならない、ひとつの努力です。それは、数多くの個人に訴える力があるひとつの生き方ではなく、そのため、偵察者や先駆者として自発的に出発する人々は、自分達が“普通の”人生を生きることはないという十分な知識を持った状態で、それを行ってきました。それで、それがそうなっていました。

こうした志願者達は、彼らがほとんど瞬時に加速された自己熟達の道筋上で彼らの意図された仕事に参与することができるように、外見的にほとんどの人々よりも接続状態になるさらに多くの才能を持って現れました。他の人々は、その生涯の後の方で、おそらく様々なきっかけとなる環境を経験した後で、接続状態になりました。そのきっかけが、何らかの既存の恐れまたは抵抗を打破して、その人々が他の人々に説明することができなかったものを探求するようにその人々を促しました。そして依然として、さらに数多くの個人が、毎日接続状態になり続けていて、最初はその人生の中にあるあらゆる物事、その生活手段、その個人的な人間関係、その人生の中の状況、その人々が家族または助言者、その人々の宗教や国籍によって襲えられてきた物事に、疑問を持つ必要性に目覚めています... その物事を簡単に言えば、もはやその人々の魂そのものから放射するひとつの憧れとは共鳴しない、あらゆる物事です。

もしかすると、皆さんは今、混沌とした目覚めの過程の只中を経験し続けながら、そのせいで非常に不快に感じているかもしれません。そして皆さんは何故、不快に感じてその不快な感覚そのものを許すべきではないのでしょうか。それは、わたし達の書記官や他の人々によって、一種の掻くことができない神聖なる痒みとして、また何か違うものに対する内面の憧れ、それ以上のもの、そしてまだ依然として認識されていないものとして、説明されてきたものです。

数多くの皆さんが、今まで訓練してきたため、皆さんの物質的な世界の中で成功を取めるためには、皆さんはひとつの人生の計画を所定の場所に置くことが必要であり、そしてまた、そういったその階層の頂上にいる非常に少ない立場の人々が、他の人々と伴に達成することを願うことは、あらゆる個人の目標であり、目標になるべきものです。

しかしその一方で、さらに大いなる叡智あるいはもしかすると不信感を持つ人々は、古いエネルギーの中で成功するそのゲームは、大衆に対する支配を回復し、ただ選ばれた少数者だけが、ただ彼らが自分達の名誉を諦めて、その“魂”を悪魔に手渡す時だけ、成功することを許し続ける、ひとつの完全な設定だったことに、既に気付いています。その古いゲームは、操作と支配のひとつでした。そして時にそれは微かで、そして時にはあからさまなものでした。それは、大衆の目覚めのための刺激として行動することを志願した者達によって考案されました。そしてそのゲームは今、自分達の役割をことのほか上手に演じているこうした個人達に委ねられています。

人類が、時にその存在のすべてで、何らかの変化が自分達の人生に現れることを拒絶することは、長い間理解されてきました。しかしその一方で今、物質的、財政的、情緒的、そして他の緊張要因のせいで、あらゆる人の人生に、変化が現れ続けています。皆さんは、言われている変化を堂々と見て、皆さんの世界を変えるひとつの機会としてそれを理解する選択をすることができます。あるいは皆さんは、自分の意見に固執して、できるだけ頑固に拒絶することもできます。それはひとつの選択の問題であり、それは意識的な選択になることが必要です。

次元上昇は、熟達性を目的にしています。ひとりの熟達者になることは、意識的な努力と集中力が必要です。それはカルマ的な人間関係、時系列、あるいはエネルギーの不均衡になるため、克服し、浄化する沢山の物事があり、皆さんは、積極的に、澄んだ識別力のある目で皆さん自身を見ることが必要になります。それはそれ自体を提示するため、皆さんは何に対しても驚くべきではありません。何故なら、すべての皆さんが、どちらかの性として、すべての国家や種族の中で、数多くの文化の中で、そして皆さんが人間または動物としてさえ認識しようとはしない数多くの姿でさえ、今まで数多くの生涯を生きてきてきたからです。

わたし達は皆さんが、皆さんの人生に入り込む小さな物事に、特に繰り返されるパターンの中で、注意し始めることを求めます。皆さんの祖先は、星と数々の天界を読み、風に耳を傾け、象徴的な言語を通して動物達に話し掛け、困難な時期の間に自分自身のところに耳を傾けて自分達のやり方に気付く方法を、認識していました。数多くの皆さんは、皆さん自身の先祖であるため、すべての皆さんが、こうした能力と再び結び付くことが必要になります。

もしかすると、今回の生涯の中で皆さんは、皆さんの父と共に動物達の跡を辿り、狩猟をする方法を学んだかもしれません。もしかすると皆さんは、皆さんの母と共に、原生林の中で液果類を集めたか、あるいは癒しの療法のために特定の植物を摘んだかもしれません。もしかすると皆さんは、厳然と簡単にコンクリートのジャングルを歩く方法を学んだかもしれません。あるいはもしかすると皆さんは、他の人々の周りで皆さんに不快を感じさせた特定の才能と能力を持って生まれ、この世界の中で不安を感じ、皆さん自体に他の何かを提示することを待ち焦がれたかもしれません。そしてもしかすると皆さん、別の人に助けられて、皆さんの人生の中でその人々に魔法のようにひとつの完璧な個性を提示させて、皆さんを乳と蜜の土地に運び去ることを待ち焦がれたかもしれません。

数々の夢、すべての皆さんが内部で、皆さんがまだ他のどのような個人とも共有せず、共有できない、数々の夢を携えます。もしかすると、皆さんが明らかにすることを怖れる、今回の生涯または他の生涯からの数々の秘密があるかもしれません... そしてそれにもかかわらず、わたし達は今皆さんに伝えますが、皆さんが皆さん自身と世界の前で積極的に完全に透明で脆弱になるまで、少なくともこの特殊な生涯の間に皆さんに与えられた時間の範囲で... 皆さんの存在感を皆さん

の物質的な身体の内部に完全に落ち着かせることを目的にして、その数々の周波数を習得することはないでしょう。

既に約束されている未来の空間へ向かうその方法は、皆さん自身のこころの内部に存在します。そしてそういった皆さん自身の故郷の完全に異なるすべての部分を受け入れ、完全に光と闇が統合された状態になることは、皆さんの意欲にかかっています。それで皆さんは、もう一度完全な状態になる可能性があり、それは、熟達性の多様な段階を通して、皆さんを確認することになるでしょう。ひとりの熟達者になることは、忍耐、誠実、意識的な集中と意図、そして大いなる頑固さ、つまり意志力が必要です。

ご存知のように、皆さんは、皆さんの身体に入り込む神の数々の光線を習得しているところです。習得が必要になる最初の3つの光線は、神（神聖なる男性原理）の意思と力の青い光線、神の愛であるピンクの光線（活発で創造的な知性、神聖なる女性原理）、そしてキリスト意識である黄金の黄色い光線（神聖なる女性と男性原理の統合つまり聖なる婚姻から現れる神聖なる子供）です。これは、ここでわたし達が提示する数々の光線の単純なひとつの概念であり、さらに深く指導することができる沢山の利用可能な情報がありますが、しかし、わたし達は、人がその旅の上を進む前に通過しなければならない数々の光線は、達成と習得に向けた特定の段階を象徴する、と言えれば充分だということにしましょう。

その通り、まるで皆さんがひとつの停滞期に到達してしまった、あるいは皆さんの方法を失ってしまったように感じる瞬間が訪れることになるでしょう。しかしこうした時期は、皆さんが自分を取り戻してその旅の上で皆さんがどれほど遠くまで来たかを認めるために、皆さんが必要とする瞬間です。こうした時期は、皆さんが、今回の生涯の中で次元上昇の過程を意識的に経験することができるように、あるいはひとつの可能性として存在するものとしてそれを自覚することができるように、その皆さんに与えられた数々の機会を、感謝と共に認め、受け入れることが必要な時期です。わたし達は皆さんにこれを伝え、それで皆さんは、皆さんが他の誰かのようにそのエネルギーを“感じ”ないという理由から皆さんが経験する可能性がある任意の自己判断を、手放すことができます。皆さんの経験は、異なるものになるでしょう。何故なら、ひとりひとりの皆さんが固有な神のエネルギーの焦点になるからです。ひとりひとりの皆さんには、数々の異なる才能を命令し、利用する潜在能力が含まれています。積極的にその過程に帰順することは皆さんに委ねられた、皆さんの決断であり、皆さんは、こうした才能は内部にあるものだと気付くかもしれません。

ただその過程に帰順することを通してだけ、自己実現を通してその光は見え始めることになるでしょう。皆さんが積極的に、この瞬間の内部で、偏見も自己判断も持たずに、皆さん自身を今の皆さんとして完全に受け入れる時、その結果皆さんは、自己熟達性の道筋にこころを開く準備が整っているでしょう。

帰順は、皆さんの文化の中で、また世界中のどのような文化の中でも、一般的な言葉または概念ではありません。何故ならそれは、人は既に自分達の力を諦めて手放してしまい、一部の征服者が人々を服従させることを許してしまったことを告げるからです。しかしその一方で、自己を習得するために皆さんが行わなければならないものが、帰順です。それは、皆さんの未来を皆さんの創造主や皆さんの魂の手に差し出して、皆さんが新しい数々の可能性と認識に対してこころを開き始める過程の中にあります。

抵抗は、役に立ちません。ひとつの集団としての人類は、既に次元上昇することを選択しています。それは、あらゆる男性、女性、そして子供達が、惑星と共に次元上昇することを意味します。その過程がどれほど長い時間を必要とするかは、集団の意識が変化するため、現在は不明です。数多くの人々は、ただ継続中の惑星の周波数の数々の変化にさらに耐えることができる新しい身体の中で戻るために、惑星を離れるようになり、そのことを認識してください。そして他の人々は、その物質的な身体が炭素基の創造から珪素基の結晶構造の創造に変化する過程を経験して、さらに多くの光を含むようになるように、流入している光の習得に成功するでしょう。

親愛なる皆さん、もしもこの知識と含まれるものが混乱を招き、まさに今の皆さんの理解を超えているように見えてとしても、それほど戸惑いを覚えなくてください。皆さんは、皆さんの合理的な精神で皆さんの世界を分析することに慣れてしています。そして数多くのこうした概念は、その精神に意味を持たなくなるでしょう。そしてそれを持つべきではない理由は、合理的な精神は、皆さんの3次元の中での滞在のひとつの産物になるからです。それは、さらに高い周波数の数々の水準の中では、機能しません。そのためその代わりに、さらに高い周波数水準でまさに簡単に機能し、皆さんの高いところの中心として認識され、物質的な胸腺全体に基づいた、皆さんのエーテル質の身体の中の知性の中心と同時に、魂の星のチャクラの中樞、皆さんの王冠つまり頭蓋の頂点の上にある皆さんのさらに高い精神の方を向いてください。皆さんという奇跡的な創造が内部の熟達者の自覚的意識へのひとつの目覚めへと参加する時、皆さんのすべての腺組織は、異なる意味を獲得することになるでしょう。

皆さんは長い間、皆さんのものになることができなかつたものに憧れてきました。今は皆さんのものに既に目覚めていて、それはいつも内部に存在します。そしてそれは、皆さんの物質的な感覚の範囲を超えているものです。皆さんが、皆さんの物質的な身体の内部で、より一層数多くの皆さんのさらに高い自己をなんとか定着させようとする時、皆さんの超感覚は、雪辱状態になり始め、そして皆さんは、さらに高い適性で、そういったエネルギーの微かな移行を登録し始めることになるでしょう。しかし親愛なる皆さん、それは実践と忍耐が必要であり、この物質的な世界の中で経験される他のあらゆる技能のように、またそれは、決意と集中力が必要になります。

熟練したひとりのアイス・スケート選手またはバレリーナは、一夜でそうなることはありません

。そのため、皆さんが今そうになっているように見えるもの以上になるために調整することは、すべての皆さんにある程度の時間を取らせることになるでしょう。重要なことは、皆さんは今何も認識せず、開かれたところで未知なる物事に向けて進み、そして同じように開かれたところで、積極瀧に学び、観察し、そしてそれはそうすることが正しいと感じる時に、行動する、という事実を受け入れることができることです。確信と信頼が、皆さんの座右の銘になるべきです。皆さん自身への確信、その過程と確信を持つことへの信頼、皆さんの助言者達やさらに高い自己を信頼することは、皆さんの自覚的意識にそういった物事をもたらすことになり、そしてそれは経験されるか、変えられるか、その何れかまたは両方になるでしょう。

もしかすると皆さんは、わたし達が皆さんに与えるその導きを拒絶することを選択することになるでしょう。皆さんは自由意志の惑星上に生きるために、それはわたし達にとって重大ではありません。この瞬間の中で、皆さんにとって正しいものを識別することは、皆さんに委ねられています。もしも皆さんが、皆さんの過程を阻むそういった数々の偏見または断定的判断を乗り越えることができないなら、わたし達が伝えあるいは行うことができる物事は、どのような変化ももたらすことはないでしょう。そして、皆さんの識別する能力は、皆さんが皆さんの直観と霊的な導きの内面の促しを信頼し、それに“耳を傾け”始める時に、発達することになるでしょう。

皆さんの魂は、いつでも皆さんに話し掛けますが、しかしほとんどの皆さんは、その囁きを聞くことに消極的か、あるいは聞くことができなくなっていました。一部の皆さんは、直観として、あるいはひとつの“虫の知らせ”として、あるいは説明できない“勘”として、その導きを経験します。そういった勘による信頼と順守は、自覚的意識に目覚めるための最初の方法であることを、認識してください。皆さんはいつも皆さん自身の神性に結び付けられていましたが、しかしその結び付きの外側の自覚的意識を手放すことを選択しました。そのため皆さんは、この世界が皆さんのために維持する数々の経験に嵌まり込んだのかもしれない。

今は、その帰還の道筋に乗り出す機会が既に皆さんの自覚的意識に入っているため、そういった物事が皆さんの自覚的意識に入り、皆さんの内面の灯台によって精査されることを、許してください。皆さんが前進する時、もしも皆さんがまさにその過程を信頼して、それはひとつの過程、ひとつの旅であることを理解するようになれば、皆さんは行うべきことを、認識するようになるでしょう。その旅は、皆さんが首尾良く皆さんに可能な数々のエネルギーを定着させて、皆さんの完全意識への復帰の中で、開いた眼で黎明の中を出発することができるように、段階を踏んで着手されているものです。

わたし達は、わたし達がこの書記官を通して伝えようとしたものに関して、皆さんが既に別の理解の水準に到達していることを希望しながら、差し当たりこのメッセージを終りにします。皆さん自身の内面の結び付きがさらに強くなる時、今後この種のメッセージを読む必要性または欲求は縮小することになり、そしてそれはそれがそうなるべきものであることを、認識してください。

こうしたメッセージはその時、皆さん自身の内面の過程の確認または道標として役立つことになるでしょう。わたし達は、皆さんがどのような伝達者にも盲目的に従うことを伝えていません。何故なら、その伝達者達もまた、かなり人間的であり、取り組むべきその人々自身の難題を持つからです。そのため、もしもその人々のメッセージが皆さんを喜ばせないとしても、断定的に判断するあるいは批判で反撃するというどのような欲求も、手放してください。何故なら皆さんは、もしも皆さんが自らを変えることを許すなら、変わることになるからです。今日皆さんは、わたし達の言葉を理解することができないかもしれませんが、しかし明日は、数々の取り込みと星の符号がクリスマスの包装紙のように内面で広げられて、その中身を明らかにして、皆さんに前進する道を明らかにするため、皆さんは突然理解するようになるかもしれません。

親愛なる皆さん、わたし達の祝福は、すべての皆さんに届けられます。必要な時に、あるいは皆さんがほんのわずかな“故郷”への接触を願う時に、わたし達は皆さんに、わたし達に呼び掛けるように伝えます。皆さんが前に進むにつれて、皆さんはさらに簡単に、故郷のエネルギーを“感じ”始めます。何故なら、故郷のエネルギーは、今でも皆さんの周りのすべてで存在するからです。差し当たり、皆さんの旅の中で皆さんがいる場所に満足して、皆さんは皆さんが今現れている姿より大規模であることを、認識してください。そして“さらに高い”数々の世界の内部に存在する風変わりな逆説として、皆さんの自己発見の旅、皆さんの魂と神々やお互いとの統合の旅の上で、皆さんを前方に駆り立てる、内部の神聖なる不満を許してください。それはひとつの冒険であり、皆さんが今後同意するように、それは皆さんの種、この惑星、そして宇宙それ自体の歴史の中で、空前のものです。そして皆さんはすべて、その大切に不可欠なひとつの部分です。

ナマステ：ひとりひとりの皆さんの内部の神または女神に対する敬意と恭順の中で、わたし達は頭を垂れます（皆さんの内なる神を拝して）。

Namasté; we bow in respect and reverence to the God / Goddess within each of you.

Copyright © by Elizabeth Ayres Escher. All Rights Reserved. Permission is given to copy and distribute this material, provided the content is copied in its entirety and unaltered from its written form, is distributed freely, and this copyright notice and links are included.

<http://bluedragonjournal.com/>

<http://bluedragonjournal.com/2014/01/26/the-light-collective-on-the-journey/>